

佳作

わたしたちの元気あふれるあいさつ

由利本荘市立岩谷小学校

五年 石井 いしい 佑菜 ゆうな

わたしは、あいさつはいいものだと思います。わたしは、前からあいさつをたくさんしてがんばっていました。しかし、学校では、あいさつをしても返してくれない人や、あいさつを適当にする人、ふざけてあいさつをする人がいました。

そこから「あいさつで学校を変えていきたい！」と思いはじめ、岩谷小学校の運営委員会に入りました。どういった活動をしたかというところ、「あいさつ活動」や、「あいさつクラブ」といったものです。あいさつ活動は学校の中の五か所で来た人にあいさつをすることです。また、あいさつクラブというものは、それぞれの学年に行き、「あいさつクラブに入りましたか。」と一声かけ、あいさつクラブに入った人と、校内をまわるといふものです。その二種類の方法で、

あいさつを広められるようになり、あきらめずに取り組んだら、学校が変わっていました。あいさつをしたら返してくれる人が増えたり、自然にわたしたちより先にあいさつをしてくれる人がたくさん出てくるようになりました。わたしは、「あいさつあふれる明るい学校」を願っていたので、とてもうれしくなりました。あいさつで学校が変わった気がしました。また、あいさつ活動で、あいさつというものは、「心を豊かにしてくれる、わたしたちの生活にとって大事なものの一つだ」ということを学びました。「おはようございます。」や、「こんにちわ。」「さようなら。」などの短い言葉で相手の気持ちをつなぐことができるのもいいと思います。

しかし、岩谷小学校だけでは物足りないあと少し思いました。そこで思いついたのは、学校だけではなく、地いきにもあいさつの輪を広げ、秋田県全体をあいさつあふれる場所にしたいと思えました。どうしたら明るく元気な秋田県になるのか、わたしができるこ

と、学校でできることを考えていきたいです。

あいさつは、わたしたちの気持ちのよい生活につながる大切なものの一つなので、あいさつはとてもいいものだと思います。もっともっとあいさつを広めることができるはずなので、これからもあいさつをあふれさせる運営委員になりたいです。そしてあいさつパワーで秋田を元気にしていきたいです。